

4月15日



情報共有と連携必要

山城康代さん

みどり町児童
センター館長

ケースワーカーや民生委員、行政の窓口にいる人は子どもの貧困が見えていたと思う。行政、民間、地域

が手をつなぎ、情報共有しながら、子どもたちを支えていく仕組みを考えていかないといけない。子どもたちをどこにつなぐか、一緒に考えていく仕組みづくりも必要。貧困の子どももそうでない子どもも、みんなで支え育てていく地域づくり、国づくり、島づくりが必要と考えている。

社会